

租税教室ⅠN学校法人滝学園

～日本の未来を考える！～

税について理解を深めてもらう租税教室が、2月17日（土）に滝学園（愛知県江南市）で行われた。同校での開催は初めて。

小牧税務署管内租税教育推進協議会に所属する長谷川税理士が講師となって、「これからの税制を考えてみよう」（国民負担のあり方）と題し、中学生18名、高校生3名に対し、税の使い道、国の歳入歳出、国の借金問題等について身近な例を挙げながら説明した。

生徒たちは、今後更に少子化が進む日本において、社会保障制度を持続可能なものとするために、どのように受益と負担をバランスさせればよいかについてグループ討議を行い、意見を発表した。

生徒からは、「中負担・中福祉で良い」との意見や「現在の低負担・中福祉から高負担・低福祉にして国の借金問題を解消するとともに、将来的には高負担・高福祉が良い」などの意見が出た。

